

## 『新学年別知能検査サポート』『認知能力検査 NINO』

### ～科学的で効率的な指導と支援に～

本年度における『知能検査サポート』『認知能力検査 NINO』のご利用方法について、ご案内を申し上げますとともに、ご検討いただく際の参考にしていただけたらと存じます。

#### ◎1時間で実施ができ、限られた時数の中でも本来持つ「学力」を診断します

「学んだ力」ではなく、「学びとる力」＝「学習基礎能力」を測り、学力検査だけでは分からない一人ひとりの全教科に通じる学習スタイルを把握し、授業や学習に役立てることができます。

『標準学力検査 NRT』とのバッテリーで、実力発揮の指標（「オーバー/アンダー・アチーバー」）が得られます。

※『知能（認知能力）検査』は年間通して実施することができます。

#### ◎認知心理学的視点からの指導・支援法が分かり、学習指導を助ける資料が得られます

授業を確実に進めたい今年度においては、一人ひとりの学習スタイル（特性）をあらかじめ把握しておくことで、学習活動でつまづきやすいポイントを先手に対応でき、効率的に指導や支援ができます。

#### ◎一人ひとりにコミットした学習支援を提供します

結果返却される個人票には、検査結果からその子に応じた日々の家庭学習の参考にもなるような適切な学習法（予習や復習の仕方等）や長所を活かした学習方法についてのアドバイスを提供します。

#### ◎『新学年別知能検査サポート』の特徴

- ・5つの知的個性「理解力」「記憶力」「思考力」「発想力」「判断力」を活かして、一人ひとりに合った学習指導を行うことができます。
- ・学習適性として、「Aタイプ」（抽象言語型学習が得意）か、「Bタイプ」（感覚運動型の学習が得意）か診断し、その集団に合った指導法をつかむことができます。

#### ◎『認知能力検査 N I N O』の特徴

- ・認知能力を「思考力」「記憶力」「言語能力」「数的能力」「処理速度」の5つの視点で測定。そのバランスから特別支援のニーズもうかがえます。
- ・「数的能力」では、算数・数学のつまづきを過去の学年にさかのぼって確認することができます。家庭学習が続いている中で、算数・数学においてどの学年から復習すべきかがわかります。